

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別		
認知科学 Cognitive Sciences		全学科	1年次	後期		
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員			
講義	2	選択	鄭 曉琳			
概要						
<p>認知科学とは、哲学・心理学・神経科学・人工知能・人類学・言語学の6分野の連合体として人間の心と知能のメカニズムを明らかにする学問である。この授業では認知科学の基礎的知識である「空間認知」、「記憶」、「知覚」「思考」について説明をする。</p>						
到達目標						
<p>(1) 人の認知のメカニズムや現象を科学的にとらえるようになることを目標とする。 (2) 情報の獲得・変更・保持・活用など心のソフトウェアとしての面を理解する。 (3) 多様な動物の認知知能と感情機能を、比較的単純な情報処理過程から他者のこころの理解に至るまで理解する。</p>						
授業内容とすすめ方						
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 1 オリエンテーション 2 ヒトはどんなふうにものを考えるか？ 3 ヒトはどんなふうにものを考えるか？ 4 空間認知 5 動物たちの色の知覚 6 動物たちの形の知覚 7 動物たちの記憶 8 人間の知覚と記憶① 9 人間の知覚と記憶② 10 動物たちの社会的知性 11 動物たちの感情 12 チンパンジーのこころ 13 イヌのこころ 14 イルカのこころ 15 全体のまとめ </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> — 認知科学とは — 感覚・知覚 — 直感と論理 — こころの中の認知地図 — 動物たちの基礎的な環境認識 — 錯視や形情報の処理の特徴 — 動物の記憶に関する実証的研究を紹介する — 記憶のメカニズム — 人間の忘却 — 人間を含む動物の社会的関係の形成 — 喜怒哀楽といった基本的な感情の形成 — チンパンジーの知能と言語訓練 — 物理的知性、社会的知性、家畜化、オオカミ — 「音」の世界 </td> </tr> </table>					1 オリエンテーション 2 ヒトはどんなふうにものを考えるか？ 3 ヒトはどんなふうにものを考えるか？ 4 空間認知 5 動物たちの色の知覚 6 動物たちの形の知覚 7 動物たちの記憶 8 人間の知覚と記憶① 9 人間の知覚と記憶② 10 動物たちの社会的知性 11 動物たちの感情 12 チンパンジーのこころ 13 イヌのこころ 14 イルカのこころ 15 全体のまとめ	— 認知科学とは — 感覚・知覚 — 直感と論理 — こころの中の認知地図 — 動物たちの基礎的な環境認識 — 錯視や形情報の処理の特徴 — 動物の記憶に関する実証的研究を紹介する — 記憶のメカニズム — 人間の忘却 — 人間を含む動物の社会的関係の形成 — 喜怒哀楽といった基本的な感情の形成 — チンパンジーの知能と言語訓練 — 物理的知性、社会的知性、家畜化、オオカミ — 「音」の世界
1 オリエンテーション 2 ヒトはどんなふうにものを考えるか？ 3 ヒトはどんなふうにものを考えるか？ 4 空間認知 5 動物たちの色の知覚 6 動物たちの形の知覚 7 動物たちの記憶 8 人間の知覚と記憶① 9 人間の知覚と記憶② 10 動物たちの社会的知性 11 動物たちの感情 12 チンパンジーのこころ 13 イヌのこころ 14 イルカのこころ 15 全体のまとめ	— 認知科学とは — 感覚・知覚 — 直感と論理 — こころの中の認知地図 — 動物たちの基礎的な環境認識 — 錯視や形情報の処理の特徴 — 動物の記憶に関する実証的研究を紹介する — 記憶のメカニズム — 人間の忘却 — 人間を含む動物の社会的関係の形成 — 喜怒哀楽といった基本的な感情の形成 — チンパンジーの知能と言語訓練 — 物理的知性、社会的知性、家畜化、オオカミ — 「音」の世界					
テキストおよび 参 考 文 献	配布資料					
メ ッ セ ー ジ な ど	人間が世界をどのように感じ取っているのか、それはほかの動物とどう違うのかに興味がある人は受講して下さい。					

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 人の認知のメカニズムや現象を科学的にとらえるようになることを目標とする。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	期末発表	70%
(2) 情報の獲得・変更・保持・活用など心のソフトウェアとしての面を理解する。	ワークシートの全ての項目が妥当な内容で詳しく記述されている。	ワークシートの全ての項目が、大きく間違っていない内容。	ワークシートの半数の項目が空欄か不適切な内容。	2/3 以上の項目が空欄か不適切な内容。あるいは未提出。	授業への取り組み・グループ討議への参加（関心・意欲・態度）	30%
(3) 多様な動物の認知知能と感情機能を、比較的単純な情報処理過程から他者のこころの理解に至るまで理解する。	ワークシートの全ての項目が妥当な内容で詳しく記述されている。	ワークシートの全ての項目が、大きく間違っていない内容。	ワークシートの半数の項目が空欄か不適切な内容。	2/3 以上の項目が空欄か不適切な内容。あるいは未提出。		